

こんな時、どうしたらいいの？



広島市立幼稚園長会 2023.2

広島市立幼稚園では、子育てを応援するために、在園児保護者から体験談を募集しました。



子供が何かにつけて「イヤ！」と反抗し、泣いて大暴れをするイヤイヤ期。思い通りにならないとかんしゃくを起こします。何を言っても、何をしても「イヤ！」と言います。何でもかんでも自分でやりたがるけれどうまくいかず「イヤ！」 どうしたらいいのでしょうか？

『それぞれのイヤイヤ』

3人の「イヤイヤ期」を経験してきましたが、自分でやりたがるが、うまくできなくてあきらめる子、うまくいかないで泣く子、全部「イヤ」で済ませる子、三者三様でした。いつもいつもそうかと言えば違いました。その子の気持ちと親の気持ちが楽になれるよう、その時々の方法をとってきました。

『ママもイヤだ〜！』

何をしても「イヤイヤ」とひっくり返っていたので、私も子供の真似をして「イヤイヤ」とひっくり返っていました。子供が大笑いして、気分が変わりました。他には、一緒に歌ったり踊ったりもしました。



『イヤイヤを楽しもう』

服を着るのを嫌がるのであれば「ピンクと青の服、どちらがいい？」と、二つのうちのどちらかを選択させ、子供が選んだら「じゃあ、ピンクを着て、公園に行こう」と、着替えが楽しくできるように声をかけていました。イライラするときもありますが、子供とのやり取りを楽しんでいます。

『〇〇したいんだね』

「イヤ！」と言っていることは、だいたい「したい」「やりたい」という意欲の表れかと思います。否定せずに「〇〇が嫌なんだね」と受け止めた方が、親子のポジティブな感情につながっていきます。一生懸命に向き合うことで、大切な存在だということや愛情が伝わります。



『一緒に考えよう』

イヤイヤ期は、何でも自分でやってみたい、でもうまくいかない、うまく伝えられない、ということが多いと思うので「どうやったらいいのかな」と一緒に考えて「こうやったらいいかもよ」とヒントを与えながら、できるだけ一人でもできるように促していました。本人が満足いくまで放っておいて、様子を見るというのも時には大事かもしれません。何に対してもイヤイヤと言うと、こちらもイライラしてしまうかもしれませんが、成長する過程で大事な時期だと思うので、寄り添い乗り越えてください。



—広島市乳幼児教育保育アドバイザーより—

イヤイヤ期は、子供の成長過程で必要なことと分っていても、そのことに直面するとイライラしますね。「子育てちょこっとアドバイス」などを参考にしたり「幼児のひろば」を利用したりして、子育ての悩みを分かち合い関わり方のヒントを得て、対処法の引き出しを増やしていくと心の余裕に繋がると思います。幼稚園の先生や他の保護者の関わりも、参考にしてみましょう。



※広島市立幼稚園のHPで、「子育てちょこっとアドバイス」を御覧いただけます。バックナンバー（No.1～13）も掲載しています。広島市立幼稚園の一覧表は、広島市教育委員会のHPから御覧いただけます。

